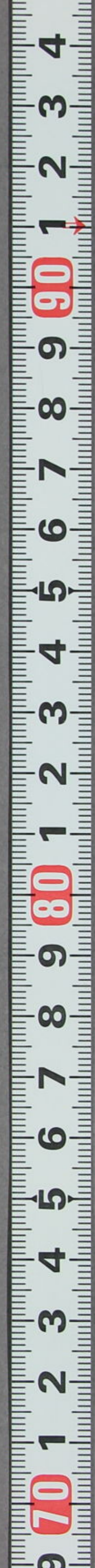


星祭略記

北
東
下
四
番
札
所
長
久
寺

辨
城
專
營

特別
イ 4
3163
169





中央ハ金輪星也第二の輪ハ七曜星也...
 一生の間男女... 一星ハあり守り
 の御星貪狼星ハ子年の生れ一星
 守りあり御星巨文星ハ丑亥年の
 生れ一生守りあり録存星ハ寅戌
 年の生れ一生守りあり文曲星ハ卯
 酉年の生れ一生守りあり廉貞星
 ハ辰申年の生れ一生守りあり武曲
 星ハ巳未年の生れ一生守り
 あり破軍星ハ午年の生れ一生
 守りあり御星也第三の廻りの
 御星ハ九星あり初歳ハらご
 星ニ支ハてより星ニ支ハてより
 十支ハてより星ニ支ハてより星
 ニ支ハてより星ニ支ハてより星
 一年とせりあり第四の廻りハ十二宮
 とヤテ月々一星ハ上ニ支ハてより
 一月とせりあり第五の輪ハ二十八宿と
 して毎月日々加はり守りありこれより
 あり通る月相星の五よりハてよりあり

星祭之畧記

夫人の凶年と云ハ羅喉星計都星火曜星等の三
 悪星に當る年ハ命を失ひ或ハ官禄財位を失ひ或ハ主
 親子孫をうしあひあふ慎まざる有べく予試ふ人の
 生年月生日生時を以て其人の善悪を考ふるに
 違ふるなり又信不信老若に依り大小の違ひあり
 又星の正逆合と云事者本命星と元辰星と當年
 星とまれ合ありけり災は得る事甚はざり
 天地の氣を六老人と幼年とハ寒暑ふいふみやまき



ごとし高位貴人ハ大木に風のはよく吹くごとく
突て崇有賤者ハ常小百苦ハ身にせ備きごとく
災も格別にハ災に然に人の天地に感ずる事ハ草木金
石小異て天曇れバ人等も曇る惡風ハ疫癘行る惡星
に感ずる事ハ目に見え絲尤之あり此故ハ大戴禮ハ
七星在頂不可致非例ト古聖人も深く慎みハ太上經に
北斗神君人乃罪惡ト記シ天曹ハ告ぐ壽算ト奪と
既ニ仙人もちて教を以て夫ハ病人等ハ此星供を
修せざれバ或ハ星の榮を醫業ももたさる者也

貴賤貧富禍福榮衰皆是宿世の因縁なりと
ども人の信仰より轉禍為福とする事ハ則チ
聖子之なり故ニ諸佛慈悲心天充滿了即衆
星と現レ玉ふ其七星九曜十二宮廿八宿ハ生一年一
月一日等の衆星は木火土金水ハ五行を示す
伏テ惟ま七星等の衆星を現レ玉ふ事ハ佛菩薩
衆生濟度ハ方便之此故ハ善星に當る時ハ自ら福祐
を培て惡星子當る時ハ必ズ殃災と受る然バ人各幸福
哉得時ハ自然の榮花と喜び禍殃ハ遇ハ不運の致

所と憂ふ併供養帰依の輩ハ悪星を轉ト筆星と
な一速うは除病延命等の諸願と成就する事ハ
明く小秘經に説く者因る毎年正月元日と七日星供と修
行廻りて諸檀那に各願と祈念護持せんと
欲す矣

御名前年法志一裁被承承はる
御祈禱の上御守進申上

一御初穂湯を人百洞宛

一別殿御祈禱料金百足